

# マラナ・タ

シリーズ～福音となったイエス～

2026・8・2

# 福音は伝えたけれど…

- アジア州からマケドニア州の町々で福音を伝えたパウロ
  - ユダヤ人たちの反対に遭いながら、多くの異邦人たちを救いに導いた
- 新しい弟子たち(教会)が抱えた問題
  - 指導者がいない(もちろんまだ新約聖書がない)
  - イエスの弟子としてどう生きるべきか分からない
  - 十戒を知らない異邦人たちは「罪」が分からない
  - 「教会」のあるべき姿が分からない
  - 間違った教え(律法主義・グノーシスなど)
  - 迫害(ユダヤ人・ローマ帝国)

# パウロの手紙による牧会

- 新約聖書の21通中、13通がパウロの手紙
  - 9通が教会宛て、4通が個人宛て
- 教会宛て
  - **ローマ**: 行ったことのないローマの教会に「信仰による救い」を教えた手紙
  - **コリント・ガラテヤ・テサロニケ**: 宣教旅行で訪ねた地域の教会に対する教えの手紙
  - **エフェソ・コロサイ・フィリピ**: 軟禁状態にあったパウロが、大切な教会に送った手紙(「獄中書簡」)
- 個人宛
  - **テモテ・テトス・フィレモン**

# パウロの手紙による牧会

- 新約聖書の21通中、13通がパウロの手紙

- 9通が

- 教会宛

- ローマ

による救

- コリン

地域の

- エフェソ

口が、大切な教会に送った手紙(「獄中書簡」)

- 個人宛

- テモテ・テロス・フィレモン

これらの手紙は書き写され、教会や信徒たちの間で共有され、保存された。やがて新約聖書の一部となって世界中で読まれることとなった。

言仰に

訪ねた

ったパウ

# テサロニケの信徒への手紙

## •テサロニケの教会

- 第二宣教旅行の際に福音を語った(使徒17章)
- 多くの異邦人が救われた(テサー1:9)

## •自分の代わりにテモテを送って状況を確認した

- 「わたしパウロは一度ならず行こうとしたのですが…テモテをそちらに派遣しました」(3:2)

## •テサロニケ教会は頑張っていた

- 「テモテがそちらからわたしたちのもとに今帰って来て、あなたがたの信仰と愛について、うれしい知らせを伝えてくれました。」(3:6)
- テモテの報告を受けてコリント滞在中に書いた





フィリピ



テサロニケ



ベレア



コリント



アテネ



# テサロニケ教会への勧め

- 偶像礼拝をやめたことを褒める
  - 「すべての信者の模範となるに至った…あなたがたがどのように**偶像から離れて神に立ち帰り**、生けるまことの神に仕えるようになったか」1:7, 9
- 「みだらな行いを避け」なさい
  - 「実に、神の御心は、あなたがたが**聖なる者となる**ことです。すなわち、みだらな行いを避け、…神を知らない異邦人のように情欲におぼれてはならないのです。」4:3, 4
  - ローマ帝国は「一夫一婦制」を法律で規定していたが、性道徳は乱れていた

# テサロニケ教会への勧め

- 「互いに愛し合う」ことを励みなさい
  - 「兄弟愛については、あなたがたに書く必要はありません。あなたがた自身、**互いに愛し合う**ように、神から教えられているからです。…しかし、兄弟たち、なおいっそう励むように勧めます。」4:9, 10
- きちんと働きなさい
  - 「そして、わたしたちが命じておいたように、落ち着いた生活をし、自分の仕事に励み、自分の手で働くように努めなさい。」4:11
  - 宣教の働き(教会の働き)に精を出すのは良いが、きちんと働いて生活しなさい



## テサロニケー4:13~17

兄弟たち、既に眠りについた人たちについては、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまないために、ぜひ次のことを知っておいてほしい。イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してください。主の言葉に基づいて次のことを伝えます。主が来られる日まで生き残るわたしたちが、眠りについた人たちより先になることは、決してありません。

すなわち、合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラツパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになります。

# 復活の希望

- 先に死んだ人はどうなるのか？

- 「既に眠りについた人たちについては、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまないために…」

- 信仰のない人たちには希望がない！

- イエスと同じようによみがえる

- 「イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してくださいませ。」

- イエスを信じて死んだ人はイエスと同じように復活する

# 「再臨」の希望

- 初代教会では「すぐにでも」イエスが帰って来られる、と信じられていた
  - 「マラナ・タ（主よ、来てください）。」コリントー16:22
  - アラム語：“マラン（私たちの主）＋アタ（来る）”
- 確かに主は帰って来られる
  - 「合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。」4:16
  - 「人の子が大いなる力と栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見る。人の子は、大きなラッパの音を合図にその天使たちを遣わす。」マタイ24:31-32

# 再臨の希望

- まず死んだ人がよみがえる

- 「すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し…」4:16

- 「空中再臨」？

- 「それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。」17

- いつまでも主と共にいる

- 「このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになります。」